

西九条佐保線等の事業説明会

対象地域：奈良市大安寺西地区

日 時：平成25年12月22日（日）18：00～19：00

場 所：奈良県立図書情報館

出席者：25名

【主な質疑内容】

Q 大森高畠線から（仮称）奈良 ICまでの具体的な計画を教えてほしい。

A 平成30年代半ばの供用開始を目指している。そのために平成26年度に都市計画の変更、新規事業化を進め、平成27年度から用地買収に着手したいと考えている。

Q 幹線街路整備事務所の場所を教えてほしい。

A 議事次第に住所と連絡先を記載している。

Q 大宮通りから大森高畠線までの区間と大森高畠線から（仮称）奈良 ICまでの区間の事業費を教えていただきたい。

A 大宮通りから大森高畠線までの区間は50億円を予定している。内訳は8～9割が用地補償費となる。大森高畠線から（仮称）奈良 ICの区間は都市計画決定の見直しを再検討中であり、提示できる段階ではない。

Q 大宮4丁目や三条添川町の生活道路の確保についてどう考えているか。

A 地元から東西の生活道路の確保について要望を受けている。今後、警察や地元と協議しながら決めていきたい。

Q 前回都市計画の変更をした時の計画と今後予定している都市計画の変更の違いを教えていただきたい。

A 大宮通りから大森高畠線までの区間は、前回都市計画の変更時に説明した計画と変更はない。大森高畠線から（仮称）奈良 ICの区間は前回の変更で道路を高架にしてJR関西線を越える計画となつたが、今後予定している都市計画の変更は、再度、道路を平面に、JR関西線を高架構造とするように見直している。

以上